

施設紹介 (第5回)



清恵会三宝病院は堺市の北西部に位置し、北は大和川を隔てて大阪市と接し、西は新日鉄をはじめ液晶テレビの工場地で有名となっている臨海工業地の近隣に建てられた病院である。当院は清恵会が昭和50年代はじめに先駆的に取り組んだリハビリテーションと人工透析を大成し2004年11月に医療療養型病床240床、回復期リハビリテーション病棟60床の病院として開院した。内科、リハビリテーション科、整形外科の病院であり、全職員をあげてリハビリテーションに取り組んでいる。回復期のリハビリテーションが主体であり、常勤の内科専門医、脳外科専門医、整形外科専門医、リハビリテーション認定臨床医、老年医学専門医などと緊密に協力し連携を取り、リハビリテーション治療を目的に入院する患者の機能障害や能力障害ばかりでなく、併存している高次脳機能障害、摂食・嚥下障害や呼吸器・循環器障害、骨・関節障害、精神障害等にきめ細かく対応している。また、人工透析施設も完備しているので、透析を行っている入院患者様のリハビリテーション治療にも積極的に取り組んでいる。



清恵会 三宝病院

〒590-0903
大阪府堺市堺区松屋町1丁4-1
TEL 072-226-8131
URL: <http://www.seikeikai.or.jp>

当院リハビリテーション部は、理学療法士17人、作業療法士9人、言語聴覚士3人、アシスタント2人の計31人のスタッフで脳血管疾患等リハビリ(I)、運動器リハビリ(I)、呼吸器リハビリ(I)の施設基準のもと、治療開始時からFIMを用いて能力評価をおこない、機能予後予測や効果判定に利用している。また、多職種でその情報を共有することで、“できるADL”と“しているADL”の違いをなくよう工夫している。回復期病棟には内科、脳外科、整形外科の各専門医、リハビリ認定臨床医の3名が常勤しており、担当医を中心に看護師、医療福祉相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士らのチームで週3回のケースカンファレンスが開かれ、患者様の状態や目標について検討し、主として在宅復帰を目指している。特に、早期の歩行やADLの自立を目的とした運動機能訓練、実用歩行訓練、ADL訓練、高次脳機能訓練、嚥下・摂食・言語訓練

には力を注いでいる。

昨年1年間の回復期病棟におけるリハビリ治療実施症例数は211例であり、内訳は脳血管疾患116例、運動器疾患95例で自宅復帰患者数は149名(復帰率70.6%)であった。現在、近隣病院との連携により多数の患者様をご紹介頂いており、当院としても今後地域医療連携(地域連携クリティカルパスを含む)を益々深めていき、かつ日本リハビリテーション医学会研修施設の認定取得を早期に目指したいと考えている。

(リハビリテーション部長 山本勝彦)



医療法人歓喜会 辻外科リハビリテーション病院

〒543-0071 大阪市天王寺区生玉前町3-24
TEL06-6771-0681



当院は辻外科病院として昭和36年に開設し、地域の救急病院という位置付けで主に整形外科関連の外傷患者を中心に、年間約1600台もの救急車を受け入れ、年間約350件の手術を行ってきた。しかしながら昨今の医療状況の変化や、大阪赤十字病院、大阪警察病院、大阪市立大学付属病院など周辺に約4300床もの急性期の大病院が存在する状況を考慮し、よりニーズの高いリハビリテーションを中心とする病院へ移行してきた。まず平成11年8月に病院改築の際に老人保健施設を併設、平成17年7月より回復期リハビリテーション病棟を開設した。そして平成20年7月1日には「辻外科リハビリテーション病院」に病院名を変更し、救急指定を返上し、よりリハビリテーションに特化した病院へと生まれ変わった。

当院は大阪を縦断する谷町筋に面しており、地下鉄谷町九丁目より南へ約200mと交通の便は良好である。1階から4階までが病院で、5階から9階には老健施設「れいんぼう夕陽ヶ丘」が併設されている。病床数は3階に一般病床20床、亜急性期病床14床、4階に回復期リハビリテーション病床37床の計71床である。リハビリ施設基準は、脳血管疾患等リハビリテーション(I)、運動器リハビリテーション(I)で、リハビリスタッフは現在理学療法士17名、作業療法士5名、言語聴覚士1名である。関連施設としては上記の併設された介護老人保健施設の他に居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、特定施設有料老人ホームがあり、特に高齢者に対しては万全のサポート体制を整えている。また、脳血管、大腿骨頸部骨折などの地

域連携パスに積極的に参加している。当院の特色としては交通の便がよいことと外来診療時間が長いために外来患者数も多く、このニーズに応えるため外来通院での理学療法、作業療法にも対応している。最近では特に肩関節術後のリハビリテーション依頼が多くなっている。都会の中心街に位置しているため、人数の割に場所が狭いのが玉に瑕である。その他栄養改善や嚥下障害にも注目し、PEG(経皮内視鏡的胃瘻造設術)の施行、嚥下造影検査などを行い摂食嚥下訓練にも力を入れている。

診察時間は月～金の午前9時～午後7時、土の午前9時～午後3時で、外来通院の理学療法、作業療法には予約制を導入している。

(副院長、リハビリテーション科科长 中土 保)

